

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	272300971		
法人名	有限会社博愛会ケアサービスセンター		
事業所名	グループホーム・テレサ苑		
所在地 (電話番号)	〒038-3806 青森県南津軽郡藤崎町林崎字宮本67番地1 (電話) 0172-89-7107		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成 19年 9月 25日	評価確定日	平成 19年 11月 15日

【情報提供票より】(平成 19年 9月 1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成 17年 11月 5日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	15 人	常勤 13人, 非常勤 2人, 常勤換算	13人

(2) 建物概要

建物構造	木造造り		
	2階建ての	1階 ~	2階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	0 円	その他の経費(月額)	12,000 ~ 冬季18,000 円	
敷金	有(円) (無)			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり		670 円	

(4) 利用者の概要(9月 1日現在)

利用者人数	18 名	男性	7 名	女性	11 名
要介護1	0 名	要介護2	3 名		
要介護3	4 名	要介護4	9 名		
要介護5	2 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 84 歳	最低	66 歳	最高	90 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	弘前小野病院・桜田病院・むらさわ内科クリニック・のじりデンタルクリニック・津軽三育医院
---------	---

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>リンゴ畑の集落の中に一つの住宅としてたずまいを見せている。開設して約2年であるが隣近所とのつながりも徐々に深めていきつつあり、職員も努力している。</p> <p>ほとんどの職員は開設と共にこの仕事に就くのが初めてということであるが、研修に参加されたり、他の施設と相互に研修されたりして勉強する機会を作っている。今後も継続して行っていく体制がみられる。</p> <p>介護が重度化した場合でも、家族の要望があれば入居の継続が可能であり安心できる。現在少しづつ周囲の環境も整備中であり、楽しみである。</p>

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回評価で定期的な会議やカンファレンスの開催について提案をうけているが、その後取り組まれており、議事録も保管されている。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>地域密着型サービスとしての理念の構築を検討しており、職員が共有出来る内容で作っていく予定である。地域とのつきあいについては、職員だけではなく入居者も社会参加の機会ができるよう努力されている。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>現在のグループホームの状況の報告、ヒヤリハット報告、事故があった場合の報告等があり、行事の内容について討議されたりしている。改善内容など具体的な討議については今後の取り組みとして期待される。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10,11)</p> <p>面会時や電話連絡などの際に意見を出しやすいように対応されている。今後は意見箱など設置していっそうの意見の集約に努めたい。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>近所にある集会所での会合に参加したりして、認知症のグループホームが地域に自然にとけこめるようになってきている。職員も散歩の際の地域の方との挨拶など行えるよう、指導がされて実践されている。</p>

2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	職員が理念を周知しており、意識を高めている。		地域密着型サービスとしての理念の内容について検討され地域生活に根ざした暮らしを支えていけるよう期待します。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	施設内に掲げられ、ミーティングの中でも復唱されたりして全職員で共有されている。		
2. 地域との支えあい					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	年1回の町内会の総会にも参加し、認知症への理解を深めようとしている。町内の行事にも参加し、散歩の時なども近所の人との交流が図られている。地域で取れた野菜の提供もあり、地域との交流が積極的に行われている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>外部評価によりサービスを振り返る機会と考えており、職員の意識を高め、改善項目に取り組まれている。</p>		
5	6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>家族の参加を促し、役場関係者、民生委員の参加も呼びかけ定期的に開催している。議事録も整備されており、施設の運営に活かされるよう努力している。</p>		
6	7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>介護保険課に出向いたり、電話連絡などで問題点があった場合の確認、検討などされて課題解決に努めている。</p>		
7	8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>今後、利用者のニーズが多様化し必要な事と理解しておられますが、具体的に取り組みの制度を学ぶ機会が少ない。</p>		<p>今後研修会などに積極的に参加し職員の資質向上をすると共に、制度の活用にもむけた体制作りに取り組むことが期待されます。</p>
8	9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>日常生活の介護の中で日々意識し、年間計画の中に施設内での研修も計画され、職員の質の向上が図られている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入居時、家族に説明契約され、重度化された時の対応、意向など家族に確認、説明し同意を得ている。</p>		
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>面会時や利用料の支払い時に現在の健康状態などを説明し、出納帳の確認をしてもらっている。又、面会などの困難な家族に対しては、電話連絡や手紙による近況の連絡を行っている。</p>		
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>相談や苦情の窓口があらかじめ説明されており、重要事項説明書にも掲げられている。</p>		<p>家族が自由に意見が出せる様な雰囲気をつくる為に投書箱的なものを設置するなど検討される事が期待されます。</p>
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>異動や離職は最小限に抑えられ、利用者の精神的な負担にならないようにしている。又、異動があった場合でも、頻繁に施設を訪れる機会を設け、コミュニケーションをとっている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
13	17	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修が年間計画の中に位置づけられており、研修を受けた職員が内部研修を行っている。又、管理者は職員に対してOJTを日常的に行っている。		
14	18	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同事業者間で施設の実習が行われており、職員の資質向上に役立てている。代表者も積極的であり、今後も取り組みが期待される。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	23	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人の生活歴、趣味などあらかじめ把握されて、場合によっては集中的な職員によるコミュニケーションケアにより、本人の意向など理解するよう努力されている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	24	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員が野菜作りを指導してもらうなど、その人にあった役割がスムーズに出来るよう環境をつくっている。又、個人的に職員と話すする時間をつくり、関係を築く努力がされている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
17	30	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>日々の暮らしの中で行動、言動など観察し、今後の生活に対しての意向を確認している。困難な場合の対応については話し合いを行い意向を引き出すようにしている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18	33	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>アセスメント表についてはセンター方式など導入をしている。面会時には家族の意向を確認して、職員間でも話し合い利用者が可能なかぎり自立出来る様な計画作成に努めている。</p>		
19	34	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>状況の変化に応じて計画を見直している。又は終了時やサービスについての変更が生じた時は、職員で話し合い計画を見直している。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
20	36	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>地域の住民も参加できるような夏祭りを企画したり、四季を感ずることができる小旅行を計画したりして利用者のニーズに合わせて支援が行われている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
21	40	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>入居前からのかかりつけ医については希望があれば柔軟に対応しており、事業所のかかりつけ医についてもあらかじめ家族と相談しながら対応している。</p>		
22	44	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>あらかじめ、入居後身体機能の変化が見られたときのことについて家族に説明しており、重度化されたときには家族の意向を聞いてかかりつけ医とも相談し、決まった方針について全職員で把握し対応している。</p>		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	47	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>記録物は決まった場所に管理している。利用者に対してはさりげなく声がけされていてプライバシーの保護につとめている。</p>		
24	49	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>利用者の意向を確認しながら計画を立ててドライブなど行っている。可能な限り散歩にも出かけ気分転換されるよう援助されている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>後片付けなどは一緒に行っており、食器洗いなど役割を持ち意欲的に行っている様子がうかがえる。</p>		<p>食事を一緒に食べるなど職員との交流をいっそう深めるような取り組みをしていただきたい。今後テーブルを購入されるとの事で楽しく会話しながら食事が出来る事を期待します。</p>
26	54	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>入浴日は決められているが、希望があればいつでも入浴できる体制がある。又、入浴を嫌がる方の処遇についても時間やタイミングなど検討し対応している。</p>		<p>今後は就寝前の足浴も検討しており、安眠対策として期待します。</p>
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>アセスメント表から引き出し、以前の生活歴などから利用者が出来る事を見出し生活の場面で行える様支援されている。</p>		
28	58	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>毎日近隣への散歩は状況に応じ行っている。希望があれば買い物や月1回程度はドライブにも行き外出支援が行われている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>身体拘束に対する取り組みはすべての職員が認識しており、絶対にしないという方針のもとケアにあたっている。</p>		<p>介護保険指定基準における禁止での具体例など全職員が周知する事でより良いケアが行われるよう希望されます。</p>
30	63	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>鍵をかけないケアについては実践されている。玄関については頻繁に出たがる利用者がおられて安全の確保上やむをえず行っているが原則としてはかけない方法で支援を考えている。</p>		
31	68	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>災害時の連絡方法なども明示されており年2回は消防団、近隣の代表者など交えて実施されている。</p>		<p>夜間を想定しての災害訓練実施は行っていないが、今後全ての状況で災害対策出来る様期待されます。</p>
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事摂取量、水分摂取量など確認し、利用者ごとの摂取量を記録し全職員が確認出来る様にして支援している。</p>		
33	75	<p>感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>マニュアルを作成し、全職員で勉強会を行っている。又、感染症予防対策として利用者が使用する食器など定期的に消毒しており、布巾などは毎日行っている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p>					
<p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>					
34	78	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>間接照明で利用者さんには心和む様な雰囲気がある。ホールは広い空間で窓からは日差しがさしこみ、玄関部分にも観葉植物などが置かれている。施設周辺は現在整備中で入居者の憩いの場として期待される。</p>		
35	80	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>いままで使い慣れたタンス、装飾品など持ってきており本人が安心して過ごせる様配慮されている。</p>		

 は、重点項目。